

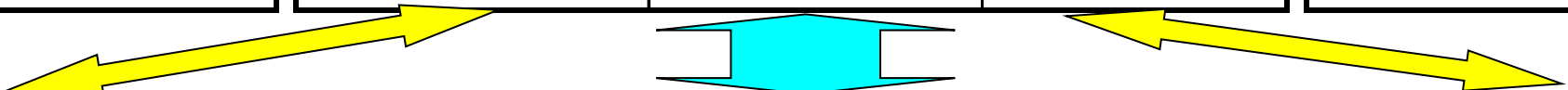
平成30年度 学力向上アクションプラン

尼崎市立長洲小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題
<p>○全国調査の結果等から見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語:長文から核になる情報を読み取り、自分の考えをまとめて書く力、人に伝える力 ・算数:確かな計算力 答えを導き出す過程を整理して説明する力 ・自主学習の習慣づけと、保護者への啓発 ・基礎基本の定着 ・見通しを持って主体的に学習に取り組む力 <p>○保護者アンケートから見られる課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分で計画して宿題以外の学習に取り組んでいる」の項目について、肯定的な回答が40%強であった。

課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)		
授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組
<p>○大学准教授を招聘し、児童が見通しを持って主体的に学習活動に取り組む力を育成する研究を進める。 【(1)アクティブ・ラーニング推進支援を活用】</p> <p>○先進校における取組内容を検証し、授業力向上を図る。 【(2)先進校視察支援を活用】</p> <p>○指導補助員を活用し、主体的な学習を進める。 【(3)授業補助支援を活用】</p> <p>○教員の授業力・指導力向上に向けた教材集の購入及び研究会参加 【(1)アクティブラーニング推進支援及び(5)学力定着支援を活用】</p>	<p>○自主学習ノートによる家庭学習の取組を実施する。</p> <p>○のびっこタイムによる計算力向上を中心とした取組を実施する。 【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○主に低学年を中心に、指導補助員を活用し、同室複数指導によるきめ細かな支援及び家庭学習課題の作成、確認点検支援、手立ての実践支援を進める。 【(3)授業補助支援を活用】</p> <p>○放課後等の学習により、児童の読解力を育てる。 【(4)放課後等学習支援を活用】</p> <p>○個々の学習状況に応じた学習指導の充実を図る。 【新学習システムの活用】</p>	<p>○読書タイムの充実を図る。</p> <p>○子ども新聞を活用し、新聞に対する興味関心を深めるとともに、考えをまとめて書く力の育成を図る。 【(5)学力定着支援を活用】</p> <p>○ホワイトボードの積極的活用により、グループ学習を効果的に取り入れる。 【(1)アクティブラーニング推進支援を活用】</p>

本年度の具体的な目標
<p>○計算力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)全国学力学習状況調査 算数Aの平均正答率:85% (2)のびっこ検定の学年末平均正答率 85% <p>○家庭学習定着度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)全国学力学習状況調査 児童質問紙より 家庭学習時間1時間以上:60% (2)保護者アンケートより 進んで宿題に取り組んでいる:80% 計画して宿題以外の学習に取り組んでいる:60%



校種間連携
<ul style="list-style-type: none"> ○ 夏季合同研修会の実施(中学校教員による小学校の授業研究及び小学校教員による中学校の授業研究) ○ 中学校教員による出前授業の実施 ○ 部活動1日参加及び生徒会交流等による連携 ○ 中学校での体研授業実施 ○ 年長児と児童との交流活動 ○ 公開保育への小学校教員の参加及び研究授業、研究協議会への幼保職員の参加

活用する支援内容	
支援内容	具体的内容
(1)アクティブ・ラーニング推進支援	○児童が見通しを持って主体的に学習活動に取り組む力を育成する研究(桃山学院教育大学今宮信吾准教授5回) ○教材集、ホワイトボード活用
(2)先進校視察支援	○横浜市立白幡小学校視察(アクティブ ラーニングの先進的取組)
(3)授業補助支援	○主に低学年の同室複数指導による、主体的協働的な学びの推進と、担任の授業力向上に係る補助的活動
(4)放課後等学習支援	○放課後学習 2h×週2×22週 ○夏季休業期間 2h×5日
(5)学力定着支援	○朝日小学生新聞、毎日子ども新聞、読売Kodomo新聞購読 ○計算プリント、放課後学習プリント、新聞ワークシート作成 ○教員の授業力・指導力向上に向けた研究会参加
(6)地域人材活用支援	
(7)その他	

家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○学力向上アクションプランの明示 ○「家読」(うちどく)の実施による読書力の向上 ○学力調査結果の公表 (学校通信、ホームページ) ○地域学校協働本部の発足による、学校、地域、家庭の連携の推進